

二二三 受信 〇四四五 譯了 〇六〇五 雷一〇七八五 航作 本概 〇

緊急

傍

第一護衛艦隊。九五航空隊。九〇一航空隊本部
九〇一空(淡水航空基地)
基隆在勤武官。馬公根卜

機密第二二二二二四番電 二分ノ一

20. 2. 24

一、明日ノ豫定夕七四五船團警戒一一〇〇至一八〇〇艦攻延二機

モ夕三八船團警戒一四〇〇至一八〇〇艦攻一機

二、本日モ夕三七船團(一四〇〇ノ位置北緯二五度〇三分東經一二一度〇一分)艦攻一機夕七四四船團(一六五五位置北緯二五度五分東經一一九度五四分)艦攻延三機一二三〇至一八〇〇警戒實施

(異状ナシ)基地附近終日小雨。

一、電信課註 本電二分ノ二未着
通一二四七九 呂一Bケ四(四九一五RC)佐放野木(角田)

二
二二二
三三三
受信
始〇四三
一〇
一〇五二五
電一〇七二七
作
機
至
急
父
島
根



父島根戰機報告信盤所

機密第二二二二〇二二三番電

戰機概報（二月二十二日綜合）

一〇八〇二 一三〇度七五斤ニテ探知戸六戸一四機〇九五七 一九五度三
五斤ニテ探知戸六戸三機一〇三九 二三〇度一八〇斤ニテ探知戸六戸二
六機本島周邊ニテ旋回攻撃ヲナサズシテ南下
ニ戰果 被害ナシ。

一 二 三 七 三 呂 一 日 々 四 三 六 三 〇 〇 父 島 原 福 田

20. 2. 23

14

二二二
二二三
受信二二三
開始〇三三〇七
丁〇三三〇
電一〇七二二
作

急

父根 戦聞概報着信所

父

根

機密第二二二〇二三番電

戦聞概報（二月二十二日綜合）

20. 2. 23

〇八〇二・一三〇度七五杆ニテ探知ヲ六ノ一機機〇九五七・一九
五度三五杆ニテ探知ヲ六ノ三機一〇三九・二三〇度八〇杆ニテ探
知ヲ六ノ二六機何レモ本島周邊ニテ旋回攻撃ヲナサズシテ南下ス
戦果被害ナシ。

通一二二六五 呂一四ヶ四（五一〇〇）父通

日下（植田）

二二二三

受信開始 〇〇二一三七〇七

了 〇三二五 電 一〇七一二 作 概

緊急



二六根戦闘概報着信監視所



二六根



機密第二二二二〇二七番電

六KB 戦闘概報 二十二日

一、〇九〇〇P I 四〇 二四ワシレ地区銃爆撃一〇五〇單發六ヨエハ見張

所附近一二一五P I 三八 一カウ灣地區偵察戰果被害ナシ

ニダルバ碇泊(一四〇〇)大型T一D 二其ノ他煙霧ノ爲不明

三、モロタイ發進針路北乃至西大型三三中型十六小型一〇計五九。

二二四三三 呂一島ラ一八 (二一遠 野村(福田)

20. 2. 23



作戰緊急

二二三

受僱開始
〇〇二二六

譯了〇一五五
電一〇七三〇

航作
本概〇

九〇三航空隊
父島、八丈島各派遣隊

九〇三航空隊父島、八丈島各派遣隊

機密第二二二二〇四六番電

參謀

一、一五二〇ヨリ一六三三迄八丈島南東方一五海附近に集團艦船ヲシキ

三團ヲ測定シテ進行方向概ネ東乃至南

二、各隊警戒ヲ嚴ニシ飛行機基地重要兵器糧品類ノ分散秘匿

ヲ徹底的ニ實施シ被害限ニ關シ一層留意ヲラレ度

通一二四〇〇 呂一Bケ四(五一〇〇KC) 横須賀 田原(木下)

20. 2. 23

二二三 受信一七二一 譯始一八〇〇 譯了一八三〇 電一〇九五六 作
至 急 高

東 通・聯合艦隊口

第一艦隊口・南西方面艦隊口・海上護衛總部隊各口
支那方面艦隊口・第二遣支艦隊口・海軍南警
佐那鎮・沖・根・台・灣・空

機密第二二二三四六番電 二分ノ下二

二月二十二日 敵機來襲狀況

一〇〇五一頃ヨリ〇四三〇ノ間敵大型機一機台灣西海岸ヲ北上陸地ニ

侵入スルコトナク脱去セリ戦果被害ナシ

三〇九三〇頃B二艦 一機高雄附近ニ侵入海中投擲一三四頃西方洋

上ニ脱去セリ戦果被害ナシ

三一―三〇頃ヨリ鷲鷹鼻南方及南西方面ヨリ近接シ來レル電波探信儀

目標ニアリシチ一八一二〇〇頃反轉南方ニ離脱一八東海岸ヲ北上セ

ルキ動靜不明

起一二六一七、一二七五七、呂一B(九一四五K)高放 田中・川崎(吉田)

20 2.24

1601

二二三 話受〇六四〇

電一〇七七八 諜通

作戰特別緊急

停

硫黄島警備隊卜・二七航戦▷

聯合艦隊口・七基地航空部隊・横鎮・父根▷

機密電話第二三〇四八番電

發 大和田通信隊司令

〇〇三八敵平文傍受ニ依レバ敵艦砲射撃主目標ニ關シ左ノ通り下令セリ

一 遮蔽砲陣地

二 彈火藥庫

三 白砲陣地

四 沿岸防禦砲陣地

五 射程限度味方最前線ヨリ一〇一〇「ヤード」

六 北方ノ味方部隊ノ前進ニ特ニ注意スベシ。

通一二四九六 呂一B

赤塚 (三石)

20. 2. 23

人

二二三

受信始 〇〇九二〇六

譯了 一〇二〇 電一〇八一

航作概本〇

緊急

共符



● 木更津、香取、硫黄島各航空基地
● 東通、横通、聯合艦隊口

機密第二三〇七四五番電

20. 2. 23

發 父特根司令官

通報 横銀參謀長、大海參一部長

誘導路不備ニシテ降雨ノ爲洞窟ヨリ引出シ困難トナリ引出テ強行シタル戰團機二機ハ何レモ車輪損傷發進ノ時期ヲ失シ本日ノ攻撃ヲ延期ス日没後飛行場中央ニ引出シ明二十四日早朝攻撃ノ豫定

通一二五三三

呂一〇ケ四（一〇二〇〇KC）父通

小森（酒卷）

週一二五九八

呂

局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長
局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長	局長	副局長

木空

西郷

（機）

七PGB電令作第六二號

二月二十五日以後S三一—飛行隊ニ對スル第二五二航空隊司令ノ指揮ヲ解ク同隊ハ九州方面ニ移動第五航空隊司令官ノ指揮ヲ受クベシ。

機密第二三〇九四八番電

作

● 茂原航空基地

● 大海參一部・聯合艦隊口・鹿屋航空基地

至急

二二三

受信一一一五〇七

譯了—二一〇電—〇八七

四

● 木更津航空基地

航作概本〇

20. 2. 23

人

三二二
受信一
譯始二〇一五〇二

譯了一三五〇
電一〇八九
航作概
本〇二

作

○

父根戰團概報着信艦所
機密第二三〇九五三番電

作

父根戰團概報着信艦所
機密第二三〇九五三番電

20. 2. 23

父島方面特別根據地隊戰團概報(二月二十二日)特別根據地隊隊員概報(一
一八四九ヨリ〇二一〇迄大型機一乃至二機ヲ以テ三次ニ互ヲ近接内大規模
一機二三四〇侵入島中央部山中ニ數十發投彈機二三〇〇侵入島中央部山中
ニ戰果被害ナシ。

局長	
一課長	
A	
福	工
I	
J	雲
H	
D	

通一二五八八
呂一Bケ四(一〇二〇〇KC)父通八八
德永貞士野

二二三 受信一六二五 譯了二二〇〇 電一〇九六 航作本〇

緊急

出屋空地

大村空天草分遣隊

横濱空地・指宿空地

停

密第二三一〇〇番電

發 八〇一空司令

宛 八〇一空藁谷大尉

一、敵情ニ鑑ミ瑞雲隊ハ尙數日現配備基地ニ待避ノ餘トス

二、當隊瑞雲隊ノ常駐基地トシテ天草基地ヲ使用ノコトニ計畫中ナルト

コト左ノ件調査ノ上至急報告セヨ

(イ) 準備ノ上收容可能機數ノ限度

(ロ) 運搬車ヲ使用セル場合ノ收容可能機數

(ハ) 寢具等ノ要機機量

通一二七二七 口一Bラ十八(B) 佐通 入澤(鈴三)

20. 2. 24

- (三) 使用可能燃料額或ニ當方ニテ補充スベキ燃料額
- (四) 夜間訓練ノ便否
- (五) 其ノ他必要ト認ムル事項。

二二三三

受信 一一三〇一

譯了 一五一五 電一〇九七五

航作概本〇

緊急

鹿屋航空基地



海護 聯合艦隊

航空 五艦隊

警

機密第二三一〇一二番電

發 八〇一空司令

宛 GEB 參謀長

鹿屋基地機密第二一二一五五番電脚

當隊陸攻隊ノ夜間哨戒力増強ノ爲五A Bヨリ七二一空優秀ナル搭乗員ト當隊要録成搭乗員トノ急速ナル入換ヲ命ゼラレアル處當隊済洲島ヨリノ復歸ヲ見ザレバ之ガ實施困難ニ付速ナル處理ヲ待度。

通一二六四三

片一Bケ四(七六〇五K) 鹿屋航空基地

小野(林部)

20. 2. 24

人

至

二二四

受信開始 〇〇二〇一〇〇
譯了 〇三〇七

電

九八
四五
六五

作機〇

作

2

南作戦部隊 (南號作戦部隊)
海護總口・聯合艦隊口。一三空

機密第 二三一〇一五番電

四分ノ、三、四

20. 2. 24

發 第四航空戰隊司令官

北號作戰中會敵ノ情況左ノ通

一、潜水艦十一日一四四五北緯四度二〇分東經一〇七度二〇分浮上十二日一一三五北緯八度三五分東經一〇九度五〇分水測探知一六〇〇

北緯三五度三〇分東經一一〇度三〇分浮上二隻一八二〇北緯一〇度〇分東經一一〇度二〇分浮上十三日〇〇一八北緯一一度三分東經一一〇度一〇分浮上(雷探探知)〇二〇五北緯一二度五分東經一一〇度四〇分同右一〇三四北緯一四度四〇分東經一一〇度五〇分同右一三三〇北緯一五度三〇分東經一一〇度五〇分二隻(共)
一三九二一
一三九二三
呂一〇ヶ西(日)吳達
西河(河田)

雷撃 一六一九北緯一六度二〇分東經一一〇度五〇分浮上十
 四日〇一四〇北緯一九度一三分東經一一一度四五分雷跡一二五
 六北緯二一度三〇分東經一一三度二〇分雷跡十五日〇二一〇北
 緯二三度〇分東經一一七度二〇分雷跡(不確實)十六日〇五五七
 北緯二六度三五分東經一一二一度〇分雷跡〇九一七北緯二七度四〇
 分東經一一二一度二〇分探知(不確實)

飛行機

二月一九三〇北緯一〇度〇分東經一一〇度二〇分ヨリ十六日

一四一五北緯二八度五〇分東經一二二度一〇分ニ至ル迄晝(夜
)共殆下常時B一二四(P二M)雲上ヨリ電探觸接時々目視

同十三日一〇四〇ヨリ一三〇〇迄北緯一五度〇分東經一一〇度五

〇分附近ニ於テB一二四一二機P一三八二〇機ヲ發見セル

外雲上ニ大編隊探知雲高三〇〇乃至一〇〇米雲量一〇時々「ス
 コールヒアリ攻撃ヲ受ケズ

十四日一一二三頃北緯二一度三〇分東經一一三度附近ニ於テ

暫時大編隊探知状況十三日ニ同ジ

三浮流機群十二日一二三〇北緯八度五〇分東經一一〇度一〇分一個

十七日一四〇〇北緯三一度五〇分東經一二二度三〇分四個

二二三 受信一三三〇五 譯了三四四五 電一〇九〇〇 機一〇
 緊急 木更津航空 機一〇九〇〇



● 硫黃島關東方面基地飛行通線着信監視

機密第二三一〇三九番電

發 第七五二航空隊司令

- 七 FGD 電令作第六一號ニ依ル攻撃ハ左ノ通實施ス
- 一 木更津航空基地發進時刻一三三〇→一四〇〇(一五分毎ニ發進)
- 二 參加機數一式陸攻六機(二機編制三箇小隊)
- 三 聳島到達豫定時刻一七〇〇→一七三〇
- 四 攻擊豫定時刻一八〇〇→一九〇〇
- 五 聳島ニテ位置確認後父島母島ノ東側視界ヲ南下進出攻撃終了後
- 六 單機毎ニ歸投ノ豫定
- 通一二六〇一 呂一〇二〇〇 KC) 木空基地 高橋(榛澤)

20. 2. 24
13. 24

〇二二三

受信一四三〇
開始一四三〇

譯了一六四〇 電一一〇〇八

航作概〇

至 急

小 崗 山 司 令 部

五基地航空部隊戰團概報着信處所



機密第二三一〇四番電

第五基地航空部隊戰團概報第六號 (二月二十一日二十二日)

一、在臺灣部隊二十一日終日天候不良ノ爲哨戒攻撃實施セズ二十二日

彩雲一機日三九索零式水偵一機日三六索銀河一機日二七索哨戒ノ爲

進出セシキ天候不良ノ爲引返ス臺灣南部終日雨

ニ在非島及「ラプアン」部隊各指揮官所報。

通一二六三二 呂 二ラー一八(一一三四七五K) 五FGBT相馬(榛澤)

20. 2. 24

7

1. 12

二二四

受信一〇八三四 譯了一三五〇 電一四三三 作 概

支那方面艦隊口

總長。南京警備隊。海警
根。二遣支艦隊口。

機密第二三一一〇六番電

受報者 上海在勤武官 南京在勤武官 漢口在勤武官

一三三八P I 五一 四機九江ニ來襲江上船舶ニ爆撃所在部隊及在泊
砲艦之ヲ攻撃撃退セリ被害ナシ

二十二日一四〇七P I 五一 四機安慶ニ來襲飛行場爆撃所在部隊及
在泊砲艦之ヲ攻撃撃退セリ。

（東通註 開始符不明ノタメ遅延ス）

通一三〇九八 呂一ブラ十八（一四九三〇KG）上海

山口（塩田）

二二二
受信一九五五
譯始二〇一五
譯了二一〇〇
電一一一三〇
・作概〇



小笠原部隊
父島特根
東通・聯合艦隊
第三航空艦隊
横通

機密第二三一二一七番電

通報 聯合艦隊參謀長・横鎮參謀長 大海參一部長
信電令作第二五號

一、信電令作第一九號ニ依ル邀撃戰團用意ヲ解除

二、各部警戒ヲ嚴ニシ戰團速應ノ態勢ヲ整ヘツツ全力戦艦ヲ促進

スベシ。

通一二七九八 天二日ケ六(五一〇〇KC) 父通 廣田(榛 澤)

20. 2. 24

二二二三

受信一二五〇
譯始一三四五

譯了一四三〇 電一〇九三七 作概〇



● 小笠原部隊

● 三航空艦隊

● 父 根

機密第二三二二一七番電

通報 QP参謀長 横領参謀長 大海参一部長

信電令作第二五號

一信電令作第一九號ニ依ル激突戰團用意ヲ解除ス

ニ各部警戒ヲ嚴ニシ戰團速應ノ態勢ヲ整ヘツツ全力戰備ヲ促進スベシ。

【東通註 QP中通報表示済】

通一二八五二 天二Bケ六(一〇二〇〇)父通 渡邊(河田)

20. 2. 24

1615

人

二二二三 受信一九二〇
 開始二〇二〇 終了二二五〇
 電一二二三五 作



父根戦術高級報告信

機密号二三一三三五番電二分ノ二

交母島警備隊司令

戰術高級報告ノ一(二月二十三日)

一〇五〇系ト・シコルスド六七一七機四機二〇機機隊一機來襲

銃撃シ一四〇五針路ヲ變更母島ノ三〇度方向及一三〇度方向ニ侵入シ退去

シタルヨリミテ敵空母群ハ母島ノ一三〇度二五〇度附近ニ一群アリ續續機

密第二二一九一〇番電ノ敵ハ漸次南下シ母島ノ三〇度方向二〇〇度附近ニ於

テ攻撃ヲ加ヘ撃墜撃破各一機大破機機沈没一機・波射機機十二機高角砲四

機二十五機機機五〇機十三機機機八六機。

通一一二七八三 呂一Bヶ四(五一〇〇RC)父通
 日野原(廣原)

20. 2. 24

二二三 受信一八四二 譯了二三五五 電一三一三七 航作 本概 ○

緊急



一〇通

ザンポアング航空基地

機密第二三一四二四番電

宛 陸軍航空軍參謀長

兼 飛行第六七戰隊長

一、戰作部中等四五六號ニ依リ戰隊ハ「グチン」ニ至リ貴軍ノ指揮下ニ
入ルベキコトヲ又其ノ移動ニ關シテハ貴軍ヨリ指示ヲラレル如ク命
ゼラル

二、現情勢現狀ニ於テハ貴軍ヨリ移動ニ關シ指示並ニ輸送機ノ協力ヲ豫
想シツツ戰隊輸送機ヲ以テ發動ヲ開始スルヲ可トスル旨ノ指導ヲ受

一、二七八〇 出二八五五五〇三二通 明比一本 田

20. 2. 24

十六日以來行動ヲ開始目下「サンボアン」ガ「」ニ集結中戰隊長ハ

「サンボアン」ガ「」ニアリ

三戰隊「モ」ヲ「」ニテ前進スルモノト「」ハ途中「サンダカン」ニ

リ「」ニ着陸「」夕チン」集結完了ハ三月十日頃ノ豫定

四戰隊空輸人員四五名「」五二機乘人員ヲ含マズ」飛行機「P-51」

二三

五戰隊ノ行動ニ關シテ指示ヲラルベキ事項ヲ至急承ケリ度。

二二三 受信二〇四九 譯了〇三五〇 電一一二三七 作 概
二二四 譯始〇一〇四〇

至 急

⑤ ザンボアング航空基地

⑤

五基地航空部隊作戰命令着信艦所

機密第二三一四四〇番電



20. 2. 24

M B M 戦闘概報 (二十三日)

一、〇九四四日 一機 二五 三機來襲上空旋回傳單散布一〇

二五スンバ島ニ至ル

二、一〇五八(一三〇五) 二四計二三機數群ニ分レ九〇度方向ヨリ

侵入「^機ナバンカ」爆撃一隊舊飛行場附近ニ投弾北西ニ去ル

三、滑走路異状ナシ戦果撃破二機

通一二八三六 呂一トラ十八 (一一三四七五KO) 五GFGHP放

内田(三石)

二二三
作戰緊急

受信一六四九〇
譯始一六四九〇

譯了一七〇七
電一一〇二二

航作概
本〇



●

香取航空基地・?

●

父

通

機密第二三一四四七番電

20. 2. 24

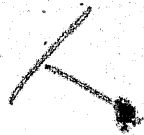
發 父島方面特別根據地隊參謀

一四〇〇頃戰闘機二六機來襲飛行場被爆撃後一部今尙哨戒中侵入方
向六〇度乃至一〇〇度附近ニシテ從來ト全然異リ空母父島ノ南東方
一〇〇哩附近ニ存在ノ算アリ。

通一二七四七

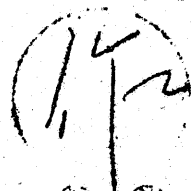
於一四(三九一五KC)三AF基地

鈴木(上野)



二二三 受信一七五〇 譯了 一八二〇 電 一一一一 航作概本〇

緊急 第一護衛艦隊 九三六空



海上護衛總口・九〇一空・一三航空艦隊口・一一根下・カムラン空基地

機密第二三一五二〇番電

佛領印度支那方面敵大型機群梁現況ニ鑑ミ二式水偵三機強風ニ纏テ急
據「カムラン」ニ派遣操縦員ヲ急速練成中ナルモ船團上空哨戒ノ強化
兵力増強ノ問題ニシテ九〇一空零式戦闘機練成ルベク多數機ヲ「ナトラ
ン」方面ニ至急配セラレ度。

通一二七四八 口一Bケ四(一七五九〇RC)十通 田原(鈴三)

20. 2. 24

二二二三 受信二〇四一 譯了二三一〇 電一三三三
譯始二二三五 電一三三三 四七 航作
本〇

緊急

カムラン航空基地

九三六空



航空本部 務部 大本營海軍部 第一護衛艦隊
九〇一空 海上護衛總口 九〇一空 三亞派遣隊

機密第二三一六三五番電 二分ノ二

發 九三六空佛印方面部隊指揮官

最近佛印沿岸方面敵大型機「B-124」ノ跳梁「本年度現
在迄被害零水七機」ハ零式水偵ノ船團直衛ヲ小數水戰ノ對空警戒
ヲ以テシテハ困難ニシテ陸上戰闘機ノ對空警戒ヲ是非共必要トスル
ニ至レリ陸上戰闘機隊ノ當方面配備方至急御配慮ヲ乞フ

通 一一二八七二

天トケ六 (六二三八) 一〇通

廣田 (三石)

20. 2. 24

二 二二二 受信 〇二一〇〇二〇 了 一四〇 電電 一一一 一一一 一一一 七二二 七七三 航作 本

至 急

九 三 一 空



第九三六航空隊 (九三六空派遣隊)
 海上護衛總口・第一護衛隊
 第一航空隊

機密第二三一六四七番電 三分ノ二、三

20. 2. 24

敵潛ハ佛印沿岸ニ蜻集シ敵機又之ニ呼應敵ノ攻撃熾烈ナリ
 佛印沿岸ヲ主トスル我對潛作戰ハ正ニ帝國危機突破スベキ緊急重大作戰
 ニシテ敵ヲ徹底的殲滅以テ相次重要船團ノ絶對完遂ヲ期セザルベカラズ
 九三六空各員ノ重責極メテ大ナリ機材人員ノ不備ヲ補ツテ士氣愈旺盛運
 續不斷ニ敢闘シツツア同一ノ勞ヲ甚ダ多トスルモ尙一層全員特攻死力
 通一一二八五〇、一二八八六 於一四(六二三五七)一 通 横井(吉田)

1623



ヲ盡シテ任務ノ完遂ニ一意奮勵邁進スベシ特ニ左ノ諸項ニ關シテハ
 隊一丸トナリテ全力傾倒實動増強ヲ圖ルヲ要ス
 一 搭乗員ヲ主眼トスル士氣ノ振作
 二 航空戦力ノ整備全幅活用
 三 通信ノ確保遠達尙本職最近便ニテ「カムラン」を遣出セントス。

(H)

人

緊急

二二四

受信一三三五〇
譯始一三五〇

譯了一四五〇

電電電電
一一一一
一一一一
五五二二
一一九一
五五四

作訓

九〇三空總派遣隊

九〇三航空隊

作

父島根P・大警・横鎮・金剛・
海士護衛總部隊・横防戦P・海上護衛隊・阪警

機密第二三二七〇一番電 四分ノ一、二、三、四

發 川西參謀

被害局限ニ關シテハ當隊機密第一二一五四番電及大海機密第一
五一三四番電指示ノ通ナルトコロ近ク敵大型機ノ來襲激化敵機
動部隊反覆來襲ヲ豫期セラルル現下ノ戦局ニ鑑ミ護備ニ際シテ戰
訓ヲ活用爲難ヲ併各種防空對策ノ急速ナル整備強化ニ努メラレ度

通
一一一一
三三二二
二二九九
一〇九八
三八七九

ロ一Bケ四(五)一〇〇KC B () 糖浦

小野・坂本・東野
杉原(佐藤)

(一)

20. 2. 25

尚過日ノ敵艦上機邀撃戦闘ニ於ケル主要戦訓左ノ通

一誘導路掩體（極力有蓋トス）ノ偽裝迷彩

二掩体ニ得ザルモノハ極力飛行場外ニ分散秘匿此ノ際有力對空火器

掩護下ノ山際ニ分散スルヲ可トス已ムヲ得ズシテ飛行場ニ存置ノ

飛行機ハ偽裝網、筵、竹等ニテ偽裝（燃料ヲ卸シ自動消火裝置整

備）

三四機ヲ急造シ敵機ノ攻撃吸收

四爲シ得ル限り避退他飛行場ヲ活用

五滑走路補修材料要具及時限燃燐處理要具ノ整備

六空襲見張所ノ指揮配員法ノ研究演練

七防空砲臺ノ強藥ノ極度節用

八基地空襲中ニ歸着スル飛行機ニ對スル警報ニハ發煙劑ヲ使用

九味方識別（今次富方面味方打三件アリ）所定規約識別號嚴守（特

ニ基地ニ近接スル際必ズ脚ヲ出スコト）行動ニ於テ他臺側ニ搭乗

員ヲ配ス。

(二)